

令和3年度 全国学力・学習状況調査における知立市の児童・生徒の結果について

知立市教育委員会学校教育課

1 調査実施日

令和3年5月27日(木)

2 調査児童生徒数

市内小学校：7校 6年生：639名

市内中学校：3校 3年生：598名

3 教科に関する調査の結果から（全国の平均正答率と比較して）

「たいへんよくできている」「よくできている」「おおむねできている」「努力を要する」の4段階で示し、それぞれの教科で優れている内容と課題のある内容の一部を紹介します。

《小学校6年生》国語：「努力を要する」 算数：「おおむねできている」

| | 優れている内容 | 課題のある内容 |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 文の中における主語と述語との関係を捉えること。 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できること。 三角形の面積の求め方についての理解。 | <ul style="list-style-type: none"> データを二次元の表に分類整理すること。 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や加法性を基に捉え、比べること。 |

【課題改善のポイント】

国語

- 意見を述べる文章を書く際、具体的な事実を挙げて、読み手が納得できるように分かりやすく述べるため、異なる立場の考えを取り上げ、それに対する自分の考えを明確にできるように指導する。
- 話の内容を相手に分かりやすく伝える際、事実と感想、意見とを区別したり、詳しい説明を付け加えたりするなどの構成を工夫した効果について、考えたことを交流する場面を設定する。

算数

- 目的に応じて集めたデータを二つの観点から調べ、四つの場合に分類整理し、二次元の表に表すことができるように指導する。
- ある図形を分割して並べ替えても面積が変わらないという量の保存性や二つの図形を組み合わせた図形の面積は、それぞれの面積の和になるという量の加法性といった基本的な性質を理解し、活用できるように指導する。

◆ 小学校質問紙調査の結果から(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について)

良い面

- 自分にはよいところがあると思うと答えた児童の割合が高く、自己肯定感をもっている児童が多い。
- 自分と違う意見について考えることが楽しい、どちらかと言えば楽しいと答えた児童の割合が高い。
- 国語や算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思うと答えた児童の割合が高い。

課題となる面

- 国語の授業で、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりする児童の割合が低い。
- 普段(月～金曜)、1日当たり2時間以上ゲームをする児童の割合が高く、学校の授業以外に1時間以上(学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む)勉強している児童の割合が低い。

《中学校3年生》国語：「よくできている」 算数：「よくできている」

| | 優れている内容 | 課題のある内容 |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること。 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと。 質問の意図を捉えること。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係を理解すること。 具体的な場面で、一元一次方程式をつくること。 | <ul style="list-style-type: none"> 整式の加法と減法の計算について理解。 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明すること。 |

【課題改善のポイント】

国語

- 文学的な文章を読んで自分の考えをもつために、自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで、自分の考えを確かなものにするように指導する。
- 報告などを聞く際、話の内容を理解するために、必要に応じて重要な情報を書き留めたり、分からないことや知りたいこと、確かめたいことなどを話し手に尋ねたりするように指導する。

数学

- 第1学年で学習した文字を用いた式の計算と関連付けて考察し、正負の数の四則計算と分配法則の特徴を的確に捉え直す場面を設定する。
- 事柄が成り立つことを説明するために、何を示せばよいかを明らかにし、着目すべき性質や関係を見いだす活動を取り入れ、根拠を明確にして説明することができるように指導する。

◆ 中学校質問紙調査の結果から(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について)

良い面

- 学校に行くのは楽しいと答えた生徒の割合がとても高く、学校生活に前向きに取り組んでいることが分かる。
- 中学で受けた授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと答えた生徒の割合が高い。
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えると答えた生徒の割合が高い。

課題となる面

- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦すると答えた生徒の割合が全国と比べて低い。
- 国語の授業で、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりする生徒の割合が低い。
- 普段(月～金曜)、1日当たり2時間以上ゲームをする生徒の割合が高く、その中でも4時間以上ゲームをする生徒の割合が最も高い。

4 調査結果をうけて

本調査の分析結果も踏まえ、各校の教務主任で組織した教育課程研究推進委員会を中心に、児童生徒の学力向上に向け、授業の改善点、より教育効果が期待できる具体的な指導方法についてまとめ、各学校に示していきます。

この調査で測定した学力は特定の一部です。各家庭では、お子様の得意なことや不得意なことを知り、学習に意欲をもてるような励ましをお願いします。